

海外安全対策情報

2019年 4月

1 社会・治安情勢

在ハバロフスク日本総領事館の管轄地域の治安は、比較的安定しており、現時点ではクーデターやテロ等、緊急事態発生のおそれはそれほど高くはありません。

しかし、2017年4月ハバロフスク市内のロシア連邦保安庁庁舎において銃撃事件が発生し、またイスラム過激派組織がロシア国内でテロ攻撃を行う可能性も否定出来ないことから、不測の事態の発生に十分注意する必要があります。

2 一般犯罪の傾向

- (1) 犯罪に関する統計によると、当館の管轄地域は2018年中の犯罪登録件数が昨年に比較して減少しております。しかし、ユダヤ自治州では若干の増加が認められます。

表1	2018年		2017年	2016年
	総数	前年比	総数	総数
ハバロフスク地方	22,509	-6.3%	24,023	27,008
ザバイカル地方	24,341	-9.8%	26,992	29,658
イルクーツク州	44,971	-2%	46,026	47,009
アムール州	17,536	-5%	18,505	18,656
ユダヤ自治州	3,663	1%	3,612	3,424
サハ共和国	11,936	-4%	12,399	12,375
ブリヤート共和国	23,511	-0.5%	23,610	23,479

- (2) 犯罪の傾向としては、銃器や刃物等の凶器を使用した路上・屋内強盗や車上狙い、ひったくり、侵入窃盗が依然として多発しています。またアパートの出入口付近に潜伏し、出入りする住人を襲う強盗事件も発生しています。また友人、知人や親族間で飲酒中に喧嘩となり、傷害事件や殺人事件に発展するケースが多く見られます。

このほか、麻薬の密売など薬物犯罪も深刻で、多数発生していることから、注意を要します。

- (3) 次に、2018年における主な犯罪種別の発生件数を見ると、おおむね減少傾向ですが、ザバイカル地方、アムール州、ユダヤ自治州で殺人事件の発生件数が増加しています。またサハ共和国で強姦事件が急増しています。

表2	殺人		強盗		ひったくり等		窃盗		強姦	
ハバロフスク地方	151	-7%	76	-6%	620	-16%	9672	-4%	52	-5%
ザバイカル地方	184	6%	97	-20%	461	-38%	10548	-12%	61	35%
イルクーツク州	275	-4%	177	-18%	1287	-16%	17817	-1%	48	-37%
アムール州	118	4%	46	-54%	421	-9%	7231	-7%	15	-50%
ユダヤ自治州	27	4%	16	-20%	80	-2%	1490	0.5%	5	-17%
サハ共和国	111	-18%	39	-20%	312	-24%	3706	-10%	48	92%
ブリヤート共和国	180	-37%	54	-32%	718	-3%	10351	-14%	39	-13%

※ 2018年中における主な犯罪の発生件数。パーセンテージは対前年比。

- (4) 邦人にかかる被害事案

2015年9月、イルクーツクを観光で訪れていた邦人女性が、混雑したバスに乗車中に背負っていたリュックサックの中から、旅券を入れた財布を盗まれるスリ被害に遭いました。

この種の事案の発生防止のため、① バッグのファスナーを確実に閉める。② 混雑時にはバッグをお腹に抱えるように持つ。③ 不用意に貴重品（旅券を含む）を取り出さない。④ 旅券と財布を一緒に携行しない。

2018年8月、邦人男性がシベリア鉄道車内で就寝中に財布を盗まれる被害に遭っています。この種の事案の発生防止のため、①就寝中でも貴重品は肌身離さず身につける。②不特定多数の者が出入りする場所では、必ず貴重品は自分の目が届く場所に置いて管理をする。

万が一、被害に遭った際には、速やかに在外公館及び警察へ通報するようお願いいたします。

3 テロ・爆弾事件発生状況

2017年4月ハバロフスク市内ロシア連邦保安庁庁舎において、ネオナチ思想に影響を受けた若者による銃撃事件が発生し死傷者が出ています。

2018年10月、ハバロフスク地方ニコラエフスク・ナ・アムーレでテロ行為を企図した容疑で地元に住む男が逮捕されました。男の自宅からは手製爆弾が押収されています。

その他、現在のシリア情勢へのロシアの積極的な介入及びヨーロッパを中心に各国でテロ事件が発生していることから、当地でもテロ事件の発生に十分警戒する必要があります。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

誘拐事件などの発生はありません。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

日本企業に対する脅迫などの事例は報告されていません。